

資料2

平成11年度水質汚濁の状況について

神奈川県、建設省、横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市及び相模原市では、県内の公共用水域及び地下水の水質汚濁状況を監視するため、水質汚濁防止法第16条により測定計画を作成し、この計画に基づいて調査を実施しているが、平成11年度の結果は次のとおりである。

I 測定の概要

1 測定地点数等

公共用水域 144地点		環境基準点	補助地点	平成11年4月～ 平成12年3月(毎月1回)
	河川	34	50	
	湖沼	7	10	
	海域	29	14	
	計	70	74	
地下水 401地点	調査の種類		調査地点数	平成11年4月～ 平成12年3月(年1回)
	概況	メッシュ調査	281	
		定点調査	76	
	定期モニタリング調査		44	
	計		401	
調査概要				
1 概況調査				
県内の地下水質の全体的な概況を把握するため、次の調査を実施した。				
(1)メッシュ調査				
横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、相模原市、鎌倉市、三浦市、逗子市、伊勢原市、秦野市及び葉山町の10市1町を1kmメッシュに分割し、メッシュ内に存在する281カ所の井戸の水質について調査した。				
(2)定点調査				
定点において長期的な観点から29市町村76カ所の井戸について経年的変化を調査した。				
2 定期モニタリング調査				
前年度までの調査の結果、汚染が確認された地点において継続的な監視を行うため13市町44カ所の井戸を調査した。				

2 測定項目

公共用水域	健康項目	生活環境項目	特殊項目	その他項目	観測項目	計
	26	9	8	7	13	63

(注)健康項目……カドミウム、全シアン等人の健康の保護に関する項目
 生活環境項目…BOD、COD等生活環境の保全に関する項目
 特殊項目……フェノール類、銅等法・条例の規制項目
 その他項目……アンモニア性窒素、磷酸態磷等
 観測項目……水温、流量等

地下水	環境基準項目	その他項目	一般項目	計
	26	1	5	32

(注)環境基準項目……カドミウム、全シアン等人の健康の保護に関する項目
 その他項目…フェノール類、
 一般項目……電気伝導率、pH、水温等

3 評価方法

(1)公共用水域

ア 健康項目の評価

全シアンは、測定地点における年間測定値の最高値が環境基準値以下の場合、その他25項目の健康項目は、測定地点における年間測定値の平均値が環境基準値以下の場合に、環境基準を達成していると評価する。

イ BOD又はCODの評価

(ア)類型指定水域における評価

- a. 水域類型が指定されている環境基準点において、類型の環境基準値を満たしている日間平均値のデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、環境基準を達成していると評価する。
- b. 一つの水域において複数の環境基準点を有する場合は、すべての環境基準点において環境基準が達成されている場合に、達成していると評価する。
- c. 県際水域(隣接都県にまたがる水域)については、県内の環境基準点で評価する。

(イ)測定地点(環境基準点、補助地点)における評価

類型の環境基準値を満たしている日間平均値のデータ数に占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、環境基準に適合していると評価する。

(ウ)経年変化による評価

経年変化については、年間平均値により評価する。

ウ 東京湾の全窒素及び全磷の評価

平成7年2月28日付環水管第33号、環境庁水質保全局水質管理課長通知による。

(ア)水域類型が指定されている環境基準点における上層の年間平均値が基準値を満たしている場合に、環境基準を達成していると評価する。

(イ)一つの水域において複数の環境基準点を有する場合は、各基準点の上層の年間平均値を当該水域内のすべての基準点について平均した値が基準値を満たしている場合に、環境基準を達成していると評価する。

(ウ)県際水域については、東京都及び千葉県が測定している環境基準点を含めて評価する。

(2)地下水

ア 環境基準項目の評価

全シアンは、測定地点における年間測定値の最高値が環境基準値以下の場合、その他25項目は、測定地点における年間測定値の平均値が環境基準値以下の場合に、環境基準を達成していると評価する。

イ その他項目及び一般項目の評価

測定地点における測定値が評価基準値以下の場合に評価基準を達成していると評価する。

* フェノール類及びpHの評価基準は、水道法第4条に基づく水質基準による。

[→資料2の目次に戻る](#)